

T O E K O T A T S U N O O N P A P E R S A Retrospective 1969-2012

辰野登恵子 オン・ペーパーズ

2018 | 11.14 wed
↓ (県民の日)
2019 | 1.20 sun

休館日：月曜日(12月24日、1月14日は開館)、年末年始(12月27日～1月4日)

開館時間：10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)

観覧料：一般1100円(880円)、大高生880円(710円) ()内は20名以上の団体料金。

※中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料です。

※併せてMOMASコレクション(1階展示室)もご覧いただけます。

主催：埼玉県立近代美術館、東京新聞 助成：芸術文化振興基金

協賛：SHI/EIDO 協力：JR東日本大宮支社、FM NACK 5

埼玉県
立近代
美術館

1950年に長野県岡谷市に生まれ、東京藝術大学に学んだ辰野登恵子は、1970年代にドット(点)やグリッド(格子)、ストライプなどの規則的なパターンを用いて、理知的で抑制された表現の版画を発表し、若くして注目を集めました。ほどなく制作の中心を油彩に移し、豊潤な色彩で有機的な形象を描く独自の抽象表現を追求、2014年に亡くなるまで、自らの絵画を深化させ続けました。

大型の油彩が高く評価された辰野ですが、この展覧会では版画やドローイングなど紙の上の表現に光を当て、辰野の画業を再検証します。初期のシルクスクリーンによるコンセプチュアルな版画に始まり、油彩の制作を本格的に開始したのちも、辰野はそれと並行してエッチングや木版、リトグラフなどさまざまな版種による版画の制作に取り組んでいます。油彩での試みを版画で追体験する、あるいは版での成果を油彩に反映させる制作によってもたらされた、油彩と版画の豊かな並行関係は特筆すべきことです。また、油絵具やパステルによる大型のドローイングは、単に油彩のためのエスキースにとどまらない、画家にとって重要な実験の場となっていたことも窺えます。

紙の仕事の傍らに、辰野登恵子の絵画をとらえなおすこと。これまでまとまった展覧の機会が限られていた紙の仕事を中心に、油彩30点を含む約220点の作品で40年余りの軌跡を振り返るこの展覧会が、辰野の画業のクロノロジーに新たな視座を与えてくれるはずです。

■トークイベント「辰野登恵子と絵画の現在」

登壇者：千葉正也、高木大地、松井えり菜

1月13日(日)15:00~16:30(開場は30分前)/2階講堂/定員：70名(当日先着順)/料金：無料/内容：辰野登恵子と親交のあった若手画家をゲストに迎え、お話を伺います。

■担当学芸員によるギャラリートーク

12月15日(土)、1月19日(土)/各日とも15:00から30分程度/2階展示室/企画展観覧料が必要です。

■ミュージアム・コンサート【整理券制】

「音楽の力は国境を越えて」

12月16日(日)14:30~(開場は30分前、演奏時間は約60分)/地階センターホール/

定員：60席(当日11:00から1階受付で整理券を配布)/料金：無料

出演者：橋村理葉(ヴァイオリン)、佐藤彦大(ピアノ)

内容：企画展にちなんで、アメリカ、日本の作曲家の作品を馴染みあるクラシックの名曲に交えてお届けします。

■【スライド・トーク】ご希望のグループにスライドを使って本展覧会の見どころをご案内します(予約制)。お問い合わせ・ご予約は教育・広報担当(電話048-824-0110)まで。

■MOMASコレクション(1階展示室)

第3期 10月20日(土)~2019年1月6日(日)

「セクション：モノとカササギとカ」・「特集：小茂田青樹」・「激動/変貌—1940-50年代の絵画」・「光—線—空—間—」

第4期 1月12日(土)~4月14日(日)

「セクション：ユトリロとかバスキンとか」・「瑛九と光春—イメージの版/層」・「特別展示：瑛九の部屋」

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1 Tel: 048-824-0111 Fax: 048-824-0119

E-mail: p240111@pref.saitama.lg.jp <http://www.pref.saitama.lg.jp/momas/>

埼玉県立近代美術館



埼玉県立近代美術館

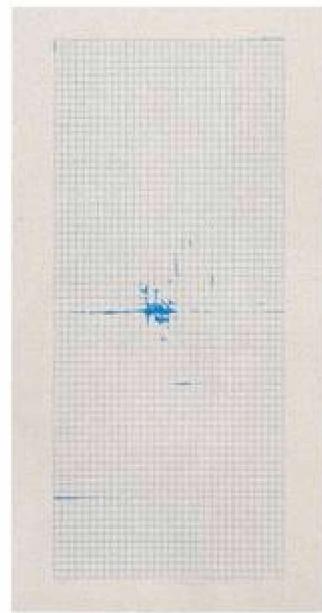
The Museum of Modern Art, Saitama

*交通案内

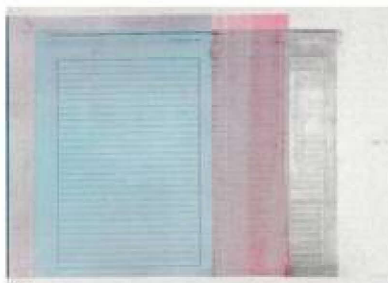
JR京浜東北線北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分。当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので予めご了承ください。

■次回の企画展

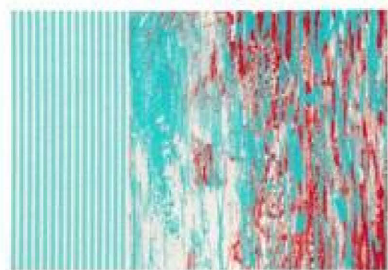
「インポッシブル・アーキテクチャー」 2月2日(土)~3月24日(日)



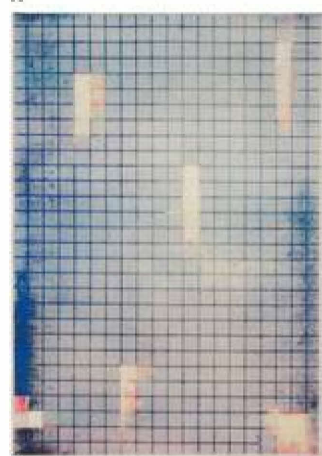
01



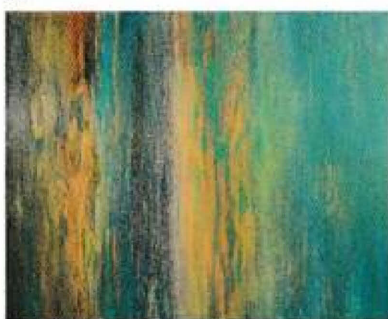
03



04



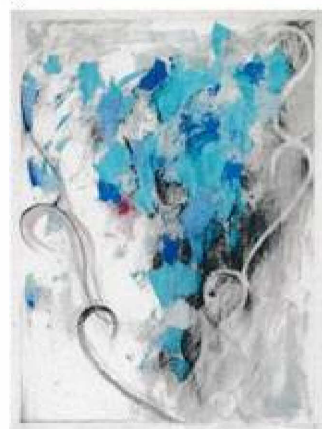
02



05



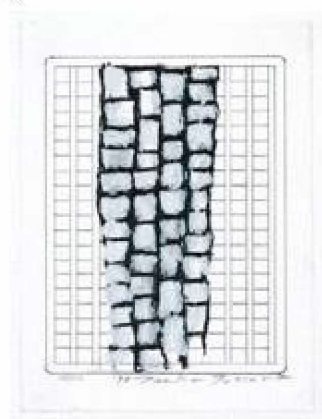
06



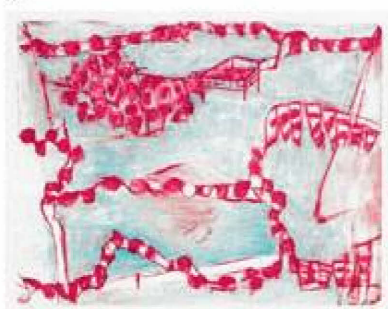
07



08



09



10

01. 《UNTITLED-35》1974年 シルクスクリーン、紙/02. 《WORK 76-D-5》1976年 シルクスクリーン、紙/03. 《WORK 77-D-10》1977年 シルクスクリーン・鉛筆、紙/04. 《WORK 80-N-1》1980年 シルクスクリーン、紙/05. 《WORK 80-P-16》1980年 油彩、カンヴァス/06. 《WORK 82-P-36》1982年 油彩、カンヴァス/07. 《WORK 81-D-30》1981年 油彩・パステル・鉛筆、紙/08. 《Oct-20-95》1995年 パステル、紙/09. 《Oct-1-98》1998年 水彩・パステル、紙/10. 《ANWP-25》2012年 リトグラフ、紙 いずれも個人蔵 ©辰野登恵子、平出利恵子